

【介護保険施設整備の手続きについて】

- 1 介護保険施設の整備に当たっては、介護保険法に基づき愛知県知事の指定を受ける必要があります（ただし、介護老人保健施設は知事の開設許可）。
指定または許可を受けるに当たって、入所型施設の整備については、各市町村の介護保険計画との整合性を図る観点から、圏域毎に必要な整備目標数を決定し、圏域会議で整備枠の承認を受けるといふ、事前協議制を採用しています。
 - 2 この手続きは、「介護保険施設等の指定等に関する取扱要領」に定められています。
 - 3 事前協議の流れは、以下のとおりです。
 - (1) 各相談センター及び整備予定地の市町村へ事前相談票を提出
 - (2) 各相談センターから整備予定の市町村へ、確認及び意見聴取
 - (3) 圏域における調整（ワーキンググループ）
 - (4) 圏域保健医療福祉推進会議における意見聴取及び連絡調整
 - (5) 圏域保健医療福祉推進会議の結果を事前相談票提出者に通知
 - 4 この手続きが必要な介護保険施設の種類は、次のとおりです。
 - (1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
 - (2) 介護老人保健施設
 - (3) 介護医療院
 - (4) 介護専用型特定施設入居者生活介護
 - (5) 混合型特定施設入居者生活介護
- ※ 1 (1)(4)については、定員 30 名以上の施設が対象となる。
- 2 (4)(5)については、
 - ① 有料老人ホーム ② 軽費老人ホーム ③ 養護老人ホームのうち、介護保険法に基づく指定を受けて、日常生活上の世話、機能訓練などを提供するものをいう。
このうち、入居者が要介護者に限られているものが「介護専用型」、入居者が要介護者に限られていないものが「混合型」である。
 - 3 (5)について（「混合型」）は、入居者が要介護者に限られていないので、施設定員の 7 割を整備枠として設定する。